

特定非営利活動法人ゆめ

多機能型事業所（放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）「ゆめクラブ」

事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで



1、家庭と学校、放課後が連携して、豊かな放課後を！

○ 保護者面談を重視し、連携して

保護者のねがい **放課後、休業日の居場所、活動づくり**
地域でたくましく生活できる力を育てたい
それぞれのライフステージに向けた継続した支援を続けていきたい

○ 一人ひとり児童が、権利の主体として、豊かな放課後を過ごせるように
学校、家庭とともに「第三の発達場」として

ねらい **自己選択を大事に、利用者が生き生き仲間とともに活動し、**
ほっとできる居場所づくり
たくましく社会生活ができる力を、将来を見ず
えて育てていきたい



2、多機能型事業所「ゆめクラブ」の取り組み
放課後等デイサービス

○ ゆめクラブの特徴、

- ・自分で決めて、自分の力で通所する
- ・仲間と協力し合って、自分たちで、調理・食事、遊び、生活を創る

新型コロナウイルス感染症の5類以降も、ゆめクラブが大事に取り組んできたことが、なかなかできないという現実はありましたが、少しずついろんな活動を再開し工夫をしてきました

感染予防対策、熱中症対策など、安全対策も考慮しつつ、不安を抱えて日々を送っている子どもたち・保護者に寄り添い、安心して通所してもらえるような環境・体制づくりに努力してきました

子どもたちが生き生きと活動しできるように工夫を重ねて取り組んできました。ゆめクラブでは、仲間と出会い、自分たちで活動を工夫し、思いっきり活動を楽しめるように支援してきました

日々の取り組みをまとめ、今後の実践の標準化・共有化のため「ゆめクラブ支援マニュアル」を作成保護者にも配布しました。保護者会では、日々の活動や子どもたちの様子をお知らせしました

◎ あたりまえの日常、日々の生活を大事に

「安心の居場所 一人ひとりが大事、思いを受け止めて」

ほっとできる居場所、何でも言える

「やってみようかな」「○○がしたい！」

誕生日会



「地域・生活・遊び」

日々の活動・生活を大事に

花や野菜のお世話

地域のまつりに参加

昼食づくり

おやつ作り



いろんな遊び、ゲームを覚えたよ
公園で元気に！

自転車、なわとび
サッカー・野球
たこあげ、シャボン玉
モルック大会



いもほり

水遊び (夏休み)

プールには行けなかったけど

いろんなことに挑戦したよ！
カレー作り、うどん作り、手芸教室
腹話術・手品



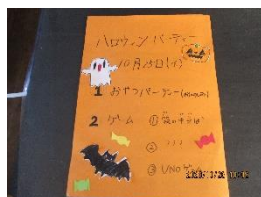
(自分たちで計画をして、行事を創る) お出かけ

女子会、ゆめカフェでランチ、ショッピング
自転車に乗って、電車に乗って
公園へ、水族館へ、神戸へ



ハロウィンパーティー

仮装大会 楽しかったね！



クリスマス会

それぞれの曜日で
ゲームやプレゼントを工夫して
中高生は、カラオケ・ボーリング大会



「仲間と学びあう」

・遊び、相手のことを考えて

小さい子の世話をし、一緒に遊ぶ、お兄ちゃんのように頑張りたい

- ・話のできる気の合う仲間、張り合う仲間
- ・楽しさの共有、人とつながる力をはぐくむ
- ・自分をみつめ、折り合いをつける力を
- ・悩んだり、迷ったり、仲間の中で、自分らしく



保育所等訪問支援事業

- ・学校等を訪問し、授業や学校での生活を支援していく
- ・担任、コーディネーター等と懇談し、学校での児童の様子や実態の共通理解を図る
- ・児童のねらい、支援のあり方等について懇談し、学校・家庭・放課後が連携した取り組みを進める

保育所等訪問支援事業については、今年度は利用実績がありませんでした
訪問のためには、人員確保とともに体制の整備が必要ですが、対応が難しいのが現状です

・放課後等デイサービス事業の「関係機関連携」として、学校を訪問し、担任の先生方と懇談、連携をとることで対応することになりました

3、委託事業の実績

○利用契約・利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放課後契約	34	34	35	34	34	34	34	35	36	36	36	35
利用	33	31	31	31	32	30	31	30	32	31	30	31
利用総数	120	123	118	129	131	125	132	134	154	130	136	145
前年度実績	114	111	116	134	132	127	143	124	145	125	122	150
前年度比	1.05	1.11	1.02	0.96	0.99	0.98	0.92	1.08	1.06	1.04	1.11	0.97
保育所契約	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付費	1104159	1102643	1054878	1185489	1270858	1102471	1161666	1188907	1396019	1165811	1203891	1396019
前年実績	1040858	997866	1063021	1232578	1283997	1094852	1335803	1120109	1312887	1153010	1113848	1355346
前年比率	1.06	1.11	0.99	0.96	0.99	1.01	0.87	1.06	1.06	1.01	1.08	1.03

放課後等デイサービス事業については、飛躍的に回復できる状況ではなく、給付費収入も横ばいの傾向は変わりませんでした。報酬改定によって給付費の単価が大幅に減っていること、利用人数が減ることが直接的に収入減になってしまうこと、等の制度の問題点が大きく影響しました

常勤児童指導員が1人、非常勤児童指導員で対応する体制になったことで、常勤職員への負担が増える事態になっていますが、人件費が減ったことで、経営赤字を重ねるといった状況は改善することができました

非常勤が多くなった現状の中、共同してよりよい支援ができるように、研修の実施、日々の打ち合わせを大事に、共通理解を綿密に行い進めています

少しずつ新しい利用者が増えてきていますが、土曜日の利用が多く、平日の利用はまだ少ないのが現状です。利用者増に向けて、情報発信の取り組みをすすめていく必要があります

保護者の状況、ニーズも多様になっています。保護者の状況や思いに寄り添い、通所自立支援、延長支援にも対応してきました

利用日に応じて集団編成を考えて、利用調整をしています。土曜日は10名を超える事態も生まれているので、検討が必要になってきています

○通所支援に取り組んできました

自分の力で移動し、通所・活動できるように、指導員が付き添って支援を行ってきました。学校から徒歩で通う子どもたち、自転車で通う子どもたち、電車で通う子どもたち。

うれしそうに「頑張ってるよ!」と自信を広げて挑戦している子どもたちの成長に、感動します

災害時も想定した安全対策を保護者とともに確保していくことが必要です



○関係機関との連携を大事に進めてきました

就学先の学校との連携（移行連携支援）、利用者の在籍する学校との連携を大事に進めています
オープンスクールの見学も少しずつ再開されるようになり、保護者とともに、担当者や担任の先生方との連携ができるようになりました

4、保護者との連携して

○保護者面談（年2回 7月と1月）

保護者のねがい・要望を把握するとともに、支援について共通理解を図り、支援計画の作成・見直しを行いました

○保護者会 全体研修会 5月（12名の参加）11月（19名参加）、3月（13名参加）
保護者同士が集まり、学び合う機会を大事に取り組んできました。

研修のテーマを決めて、学び合いました 性教育、虐待防止、放課後活動で大事にしたいこと等
ゆめクラブの運営や活動、子どもたちの様子について理解をしていただくとともに、保護者同士の交流を図りました

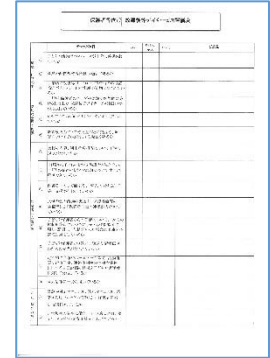
○「保護者アンケート」を実施し、事業所評価を行い、
公開に取り組みました

10月～12月放課後等デイサービスガイドラインに
基づく自己評価の取り組みを行いました

アンケート結果、要望と改善点をまとめ、保護者等にも公表
するとともに、日々の取り組みに生かせるよう協議しました

自己評価 2月15日から 法人ホームページに公開しています

<http://www1.winknet.ne.jp/~zmy58427/NPOpdf/2023hyouka.pdf>



5 地域でのつながりを大事に、だれでもが共に生き生きと生活できる地域づくりをめざして

○3年ぶりの地域交流行事「ゆめクラブ オープンデイ」を11月に
開催しました。飾磨どんぐりクラブや地域の人との交流、家族や兄弟
の参加も多数あり、ゆめクラブの取り組みを
知っていただく機会になりました。

当日は、遊びのコーナーや販売と子どもたちも
主人公として行事に参加し、生き生きと活動して
いました



○開催できていなかった「ゆめクラブ作品展」を、保護者面談の時期と合わせて、ゆめクラブ内でし
ました。作品展示を通して、活動の様子や個々の子どもたちの姿を保護者
し知ってもらう機会なればと取り組みました

次年度は、外部の方々にも見ていただける「ゆめクラブ作品展」が
実施できないか、会場の確保も含めて検討中です



6、職員が一体となって実践に取り組み、生きがいを持って働けるように

○職員体制 管理者1人（常勤） 児童発達支援管理責任者との兼務）
児童指導員1人（常勤）
児童指導員4人（非常勤） 事務職員1人（非常勤兼務）

○ 広く研修を進めていきました

月1回、スタッフ全体研修を持ち、利用者の実態把握と支援について共通理解を図る

内容 放課後デイのねらい、児童の実態把握と指導計画、研修会報告

関係機関連携・学校連携等の報告 その他

年間研修計画に基づくテーマ研修

虐待防止に向けてチェックリストによる自己点検、ヒアリハット事例報告

事例検討会

研修会の参加を奨励し、研修の報告を全体に行い、みんなで学び、深めていきました

オンライン研修も積極的に取り入れながら実施してきました

内容 「感染症対策」「身体拘束の適正化」「業務継続計画（BCP）」等
「人権を大切にする保育 ～不適切保育について考える」
「児童虐待を権利擁護の視点から考える～子どもたちの笑顔のために」
全国放課後連・兵庫放課後ネットに加盟し、総会、研修会に参加して実践交流を深めました
内容 「発達支援に医療が望むこと～メソッドより遊び・生活・仲間～」
「子どものねがいをみつけ、育ちをささえるうえで大切にしたいこと」
「私たちと発達保障～実践・生活、学びのために」

- 職員の処遇改善を図りました
 - ・職員健康診断を実施し、職員の健康管理をすすめています
 - ・福祉・介護職員処遇改善加算・特定処遇改善加算および臨時交付金、福祉・介護職員等ベースアップ加算を活用し、基本給、資格手当、処遇改善手当、特別手当など諸手当の改善を図り、職員の賃金改善を図っています
 - ・休暇の計画的取得等、常勤・非常勤の格差をなくし、働きやすい労働環境の改善に努めています

7、事業所運営・環境の充実に向けて

○自然災害や感染症発生等の緊急事態でも、障害のある子どもたちの居場所確保と福祉サービスが継続して提供できるように、業務継続のための計画（BCP）を作成し、取り組んでいます

○補助金・寄付金等を活用し、避難ばしごの設置、防災ヘルメットの購入、非常用品の購入備蓄をし、防災対策の充実を図ってきました

○安全安心の事業所運営のため、体制の充実を図りました
総合防災計画・避難計画、危機対応マニュアル 等の作成
年2回の防災訓練週間を設定し、防災教育に取り組むとともに、
避難訓練・防災訓練を実施しました



○虐待防止マニュアル、苦情対応マニュアルを作成するとともに、相談体制の充実を図っています

○法人として、ゆめカフェとの共同で虐待防止委員会を設置し、虐待防止に向けた取り組みを進めるとともに、委員会の内容を報告し、保護者、職員への周知を図ってきました

第5回 10月11日（水） 事業所における取り組みの報告と確認
研修「虐待防止対策の義務化について」

第6回 3月6日（水） 事業所における取り組みの報告と確認
研修「児童虐待を権利擁護の視点から考える～子どもたちの笑顔のために」

○WAMNET（ワムネット）に事業者情報を登録公表するとともに、ゆめクラブホームページに、お知らせ、保護者との連絡を掲載し、情報共有できるように取り組んでいます

日々の忙しさの中で、月2回程度の更新作業し対応できていないのが現状である。保護者の意見を聞きながら保護者をつなぐよりよいツールともなるよう、充実させています

ゆめクラブ ホームページ <https://yumeclub-himegi.amebaownd.com>



8、自主事業 障害児、家族のねがいに応え、必要な事業を広げてきました

○ 発達相談支援事業
様々な相談に対応してきました

ねがいをつなぎ、一人ひとりの自立に向け、支援をつないでいける体制づくりを検討したい